

突破

生徒会新聞

第 17 号

令和5年12月22日

担当者：福服 凌

○今までありがとうございました！

本号で生徒会新聞「突破」も最終号となりました。今年の生徒会ビジョンは「向上心を持ち進化し続ける世羅西中」でした。生徒全員が自分自身の現状に満足せず、より質の高いものを目指して努力し続け、個として集団として、成長、進化し、高みを目指せる学校を目標にしてきました。そして、ビジョンの達成に向けて取り組む中で、今の世羅西中学校の課題を改善しながら成長し、その先にある大きな壁を全員で「突破」する姿を目指してきました。今日までこの活動を続けてこられたのは、皆さんの協力があったからこそです。これからは、新しく42期生徒会を中心とした活動が始まります。来年度は今よりもっと良い世羅西中学校を目指して、取り組んでください。これまで41期生徒会の活動へのご協力、ありがとうございました。

・福服 凌（会長）

僕は生徒会の活動を通して、生徒会で話を「共有」することが大切だと学びました。ひとりで抱え込まず、仲間と共有することで、ひとりの負担を減らし、行事などに全員で取り組むことができました。1年間ありがとうございました。

・中山 心希（副会長）

私は活動を通して意見を「よく聞き、よく話す」ことが大切だと学びました。積極的な討議をすることで、より良い活動へと前進することができました。1年間本当にありがとうございました。

・貞行 千陽（書記）

私は生徒会活動で「信頼」を大切にしました。信頼される人になるために一つ一つの仕事に責任を持ちました。また、私も生徒会の仲間を信頼することで行事を乗り越える事ができました。1年間本当にありがとうございました。

・宮本 遥（書記）

私は生徒会活動を通して「協力」することが大切であるということ学びました。一人では失敗することも仲間と協力することで成功できるということがわかりました。1年間本当にありがとうございました。

・友定 拓也（会計）

私は生徒会で改めて「事前準備」の大切さを感じました。失敗する可能性を少しでも減らせるように「事前準備」をし、何事も締め切りよりも早く済ませられるように心がけてください。1年間本当にありがとうございました。

・三木 大和（会計）

私は生徒会活動を通して、「臨機応変」に対応することが大切だと思いました。生徒会では全校の前で話したり、挨拶などをする機会がとても多いです。そこで何が起るかはわからないのでどんなときにも対応ができるように心がけてください。1年間ありがとうございました。

・前原 優莉（生活委員長）

私は生徒会活動を通して、「連携」を取るということを大切にしました。活動の中で一人では難しいことも、各学年の生活委員や先生と連携を取りながら取り組むことで達成しやすくなったのではないかと思います。1年間、本当にありがとうございました。

・福原 千奈（保健・美化委員長）

私は生徒会活動を通して、「責任」を持つことが大切だと思いました。自分が最後まで取り組むことで、周りの人が困らず生活できます。1年間、ありがとうございました。

・地森 水穂（図書・広報委員長）

私は生徒会活動を通して、「一人の力の弱さ」を学びました。たくさんの方が支えてくださったおかげで、初めてのことにも挑戦することができました。1年間、ありがとうございました。